

（主な意見・質問）

（意見） 統合により、スクールバスで通うことになれば、低学年の子どももいるので、バスの中で見守る人がいないのは心配であるとの声を聞く。また、スクールバスは、大型車ではなく、10人乗り程度の小型車が良いと思う。

（意見） 跡地利用について、地元の意見を沢山聞いたが、最終的には市の予算が絡んでくるので、何とも言えない。

（答） 跡地利用については、市長部局と連携し、跡地利用調整会議を開催しているので、この会で出された意見をそのような会議に提案し、市全体で判断していく。例えば、旧舌田小学校跡地に簡易宿泊施設マンダリンを新設したが、その時には、学校教育課だけでなく、農林課や政策推進課など、関連する課が集まり協議してきた。

（意見） 旧双岩中学校の校舎は、現在、自主防災会が管理しているが、エアコンが設置されているのは校長室、職員室、パソコン室だけである。双岩小学校は、全教室にエアコンが設置されているので、夏の暑い時期に災害が起きた場合の避難所として活用するのが良いと思う。ただ、高齢者にとっては坂がきついで、歩きやすい道を整備する必要もあると思う。

（意見） 市長をかこむ会で、市長が修学旅行の誘致について話をされていたが、マウンテンバイクの国際大会もあるので、双岩小の跡地利用については、宿泊施設として活用することや、グラウンドをキャンプ場として利用することも考えられる。ただ、グラウンド横の斜面は、沢山草が生えるので、管理するのが大変だと思う。

（答） 双岩地区は、南海トラフ地震による津波の影響はないが、大雨の時の土砂災害による避難場所を心配されていると思う。過去に行った小・中学校のエアコン設置は、児童生徒の熱中症対策として、国の補助を受けて設置してきたが、旧双岩中学校は、この補助制度が実施される前に学校統合となったので、校長室、職員室、保健室、パソコン教室にしか設置されていない。双岩小の跡地利用に関しては、今ほどの意見を参考にしながら、地区にとってもより良い活用となるよう検討していく必要がある。

（意見） 双岩地区は、津波の心配はないが、地震により道路が寸断された場合に集落が孤立することが懸念される。子どもたちが学校から家に帰って来れなくなった場合に保護者は不安になると思う。

（意見） 双岩地区の児童クラブは、学校統合後も継続してほしい。

（答） 自主運営型の児童クラブを運営しているのは、双岩地区と川上地区の2地区だけである。小学校ごとに一つの児童クラブが原則であるが、子育て支援課とも協議し、統合後も今まで通り継続するように考えている。

（意見） 統合後、スクールバスで子どもたちを送迎するということだが、小学1年生になったばかりの子は集団に慣れていないと思うので、子どもたちが慣れるまでの間は、運転手以外にバスの中で見守

る人を付けてほしい。

(答) 川上地区協議会では、スクールバスの乗車確認ができるアプリケーションを導入してほしいという意見もあった。子どもたちを送迎するうえで、保護者の不安を少しでも解消できるよう様々な方法を検討していく。

(意見) 他市町でもスクールバスを運行していると思うので、教育委員会で情報収集を行い、どのような対策をとっているか、次の会で聞かせてほしい。

(答) 過去に統合した学校に対する通学支援については、旧川之内小の子どもたちは、路線バスを利用して千丈小へ通っている。旧長谷小の子どもたちはスクールタクシーを利用し、旧舌田小の子どもたちはジャンボタクシーを利用している。今までに路線バスやタクシーを利用して困っているという意見は 1 件もないが、次回までに神山小や千丈小にも確認する。また、他市の状況についても情報収集し、次回に示したいと思う。

(意見) スクールバスで帰宅する時に、停留所から自宅まで距離があると、低学年の子どもたちは不安になると思う。小型車であれば、家の近くで降りることができるので、検討してほしい。

(答) 帰りについては、双岩地区の児童クラブを利用する子どもは、そこで降ろすことになるが、それ以外の子どもについては、朝、乗車した場所で降ろすということになる。スクールバスの大きさが決まれば、その大きさによって安全に乗降できる場所を選定していきたいと思う。

(問) 教育委員会の年間予算が少ないのではないか。また、学校にエアコンを設置するにもお金がかかるが、市の方で競争入札は行っているのか。

(答) 市の財政当局に予算要求を行い、審議を経た後、議会の議決を得る必要がある。また、金額に応じて入札を行っているが、以前に比べて人件費や材料代が高くなっている。

(問) 双岩地区の避難所に避難してきても避難用の道具が一切ない。八幡浜市のふるさと納税が県内で 1 位になるほど寄付があるので、その一部を活用するなどして、避難用の道具を構えてほしい。

(答) 避難所の備蓄については、自助・共助・公助で取り組む必要があるため、備蓄品の全てを市が構えることは考えていない。現在は、市の消防署の前の備蓄倉庫に保管しているが、様々な場所に備蓄品を保管する必要があると思うので、危機管理室とも協議していく。

(意見) 昔と比べて気温の変動が大きくなっているので、予算的な問題もあると思うが、積極的に避難所への空調設備の設置を市全体で検討してほしい。

(答) 体育館にエアコンをつけていくという流れは、全国的な流れでもあるので、市長部局とも協議をしながら進めていきたいと考えている。

(問) 双岩小学校は、国からの補助を受けていると思うが、償還期間は終わったのか。

(答) 双岩小学校は、鉄筋コンクリート造りなので、償還期間は 60 年となるが、まだ経過していない。仮に民間に有償で貸し付けた場合は、補助金の返還が必要になることも考えられるが、閉校後、地域が活用することについては、返還の必要がない場合もある。

(問) 将来的には、旧八幡浜市内で小学校が1校になるのか。

(答) 旧八幡浜市内で小学校が1校になることは、今のところ考えていない。

(問) (仮称) 八幡浜南小学校ということであれば、千丈川より向こう側が八幡浜北小学校になるというイメージを持っていたが、それも決まっていないのか。

(答) 新たな統合に関しては、学校再編整備検討委員会を立ち上げて、第三次実施計画を策定していく必要があるので、今の段階では何も決まっていない。

(問) 新しい学校名を決める方法としては、時間的な問題もあるが、公募することも考えられる。ただ、個人的には八幡浜南小学校で良いと思うが、皆さんの同意が必要になるのか。

(答) 新しい学校名は、皆さんの同意を得ながら進めていく必要があるので、他に案があればこの会で発言してほしい。また、この会で出された意見は、今後、設置予定の統合準備委員会で協議し、最終決定していくので、この会で全てが決まるわけではない。

(意見) 例えば、この会で出された新しい学校名を取りまとめて、八幡浜南小学校を含めた複数の候補でアンケート調査をすることも一つの手だと思う。

(答) 今まで行ってきた保護者説明会や地域説明会では、(仮称) 八幡浜南小学校という名前を挙げて説明をしているので、再度アンケート調査をすることは考えていない。3つの地区協議会で出された意見を取りまとめて、それを統合準備委員会に提案していく方向で進めていきたいと考えている。

(意見) 新しい学校名は、できれば地元の名前が残ればいいが、それを言い出したらキリがないので、将来的なビジョンで考えると、八幡浜の冠が付いている八幡浜南小学校で良いと思う。

(問) 今回の小学校の統合計画では、双岩小と川上小と神山小が統合する計画であるが、市内の小学校には双岩小と同規模校がそのまま存続することになる。一方では統合し、一方では存続することになった経緯を地域に説明する必要があるのではないか。

(答) 今回の第二次実施計画では含まれていない小学校も、第三次実施計画を策定する中で協議していく必要がある。国の重要文化財には指定されている日土小学校は、リビングヘリテージ(活用されている文化遺産)として、今回の計画には含まれていない。しかし、近年の急速な少子化に伴い、子どもの数が減っていく中で、次回は、子どもたちにとってより良い教育環境を提供するという視点で検討していく必要があると考えている。

(意見) 双岩地区でも外国籍の親が増えているが、子育てサロンでその子どもと関わる中で、言葉などのハンディキャップがあり、地域でフォローする必要があるが、市や学校でも外国籍の人達をフォローする体制づくりを検討してほしい。以前、外国籍の親子が図書館に来られたが、英語の絵本が少なく目当ての本がなかったようで、図書館の担当者は英語の絵本を充実させたいと言っていた。

(答) ある小学校に中国籍の子どもが入学したが、日本語が十分ではないので、中国出身の生活支援員を配置するなど、子どもに対する配慮は行っているが、社会生活において、保護者への配慮は

十分ではないところもあるので、市長部局とも協議していく。

(問) 今後の予定では、来年の1月に第2回の地区協議会を開催するということだが、それ以外にも新たな問題や要望等が出てきた時には、地域が要望すれば地区協議会が開催されるのか。

(答) 川上地区協議会でも、統合後も改善点や要望等が見つかるかもしれないので、年に1回でも良いので、開催してほしいという意見があった。教育委員会としては、地域からの要望や意見などを聞く機会は必要だと思うので、地区協議会の名称やメンバー等が変わるかもしれないが、統合後も地域からの要望があれば開催できるように検討する。

(意見) 統合後、新しい小学校に通うようになると、低学年の子どもたちは、地元のことを学ぶ機会がなくなると思う。今回、新たにスクールバスを購入するということであれば、授業の一環として、地域探訪を計画した時に、そのスクールバスを利用させてほしい。

(答) 学校統合に伴う通学支援用のスクールバスは、国の補助を受けて購入するので、地域探訪などで利用する場合は、目的外使用となる可能性がある。使用可能かどうか調査する。

(問) 新設校の校長先生が替わった場合には、地域探訪などの計画を提案されても対応に苦慮されるかもしれないので、教育委員会である程度の教育課程のプログラムを組んで、新設校に周知するような配慮をしてほしい。

(答) 統合合意書の調印式が行われた後は、3校の校長、教頭、教務主任が集まり、新しい学校運営や学校行事について話し合いが行われるので、この会で出された意見を周知していきたいと思う。